

2022年度ウェビナーシリーズ第1回  
ダイバシティー時代の「日本型教育」の行方

# 「性の多様性」 をめぐる日本の 学校教育の課題



講演者

渡辺 大輔 准教授

埼玉大学基盤教育研究センター

6月17日（金）

16:30～18:00

文部科学省は2010年に「性同一性障害」のある児童生徒に、2015年にはそれを含む「性的マイノリティ」の児童生徒への支援や配慮を学校に求める通知を出しました。それ以降、個別的な配慮や支援とともに、制服の見直しなど学校環境の整備、啓発資料の作成・配布、教科書に「性の多様性」や「LGBT」について記載されるようになるなど、少しずつ変化も見られます。しかしそこにはLGBTQ+の縁辺化を再生産する問題も見受けられます。そういった「性の多様性」をめぐる日本の学校教育の課題について考察します。



事前申込

締め切り：6月15日

京都大学大学院教育学研究科グローバル教育展開オフィス主催  
お問合せ：globaledu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp



京都大学